

大阪市立大学医学部附属病院における 医療事故調査委員会の調査報告書の公表について

大阪市立大学医学部附属病院は、平成24年4月10日(火)に発生した蘇生用バックの誤使用により患者が低酸素脳症になるという医療事故(すでに公表済み)に関して、5月2日(水)に4名の外部有識者を含む医療事故調査委員会を設置し、以降3回の委員会を開催して検討してまいりましたが、このほど調査報告書がまとまりましたので公表します。

調査報告書においては、事故の原因について、蘇生用バックの点検・管理方法や機種の不統一などの院内の問題や蘇生用バックの構造や説明書の不備などの医療機器本体やメーカーの問題、さらには医療機器や安全に対する教育の問題など様々な要因が影響しているとして、医療機器や安全意識向上に対する教育の充実、医療機器管理体制の整備、医療機器メーカーとの連携、マニュアルの整備などの再発防止の提言を行っております。

本院では、今後、医療事故調査委員会の提言等を真摯に受け止め、医療事故の再発防止に努めてまいります。

[医療事故調査報告書\(概要\)はこちら](#)

[医療事故調査報告書\(本文\)はこちら](#)

【お問い合わせ】

大阪市立大学医学部附属病院

医療安全管理部

tel 06-6645-2770 / fax 06-6632-7114